



シルバーいなぎ

平成 22 年 1 月 1 日発行
第 35 号
稲城市シルバー人材センター
広報部

平成
22
年

謹賀



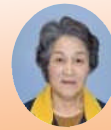
新年



あけましておめでとうございます



三澤会長



半杭副会長



宮澤
事務局長

●30 周年の記念行事が行われる年です



牛山総務部長

設立 30 周年の新年、明けましておめでとうございます。今年はシルバー人材センターの「制度改革の基盤」が示される年です。

新制度は、団体自治と自己責任経営となるといわれています。新制度を見据え、皆様とともに力を合わせ前進してまいりたいと思います。また、当センターでは 30 周年記念行事として、記念式典・記念誌発行・記念事業が予定されています。

●公益社団法人への移行申請に向かって



西 広報部長

会員の皆様、明けましておめでとうございます。さて、シルバー人材センターにとって今年は大変な仕事 awaits しております。それは公益社団法人への移行申請を行なうのに際し、会員の皆様へシルバーの憲法とも言うべき定款を示しご理解を頂く仕事です。この定款は東京都 58 シルバーが共通の定款制定を目指して進めてきました。当 SC では関連する規則の制定を急ぎ総会に諮るまで総力を結集して参ります。

会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

四部長年頭で力強く抱負を語る
ファイト!

●健康で誠意ある安全就業を目指して！！



小山事業部長

会員の皆様、新年おめでとうございます。新年早々暗い話で恐縮ですが、今年も契約件数・金額の減少等、シルバー人材センターにとって増々厳しい年になると思われます。次の受注に繋げ契約件数を増やすためには、発注者の方々からシルバーに頼んで良かった、次の時も頼もうと言ってもらえるような仕事をするのが、最短の道であると思います。誠意ある就業をお願いいたします。

健康に留意され、安全就業に心掛け、皆さんで設立 30 周年を迎えましょう。

●市民対象の講習会を計画し会員増強を！！



石井女性部長

会員の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成 22 年度は設立 30 周年、公益社団法人制度移行など、一方では補助金縮減などの厳しい SC 運営のなかで、女性部会の活動の理解が大きな流れに埋没しがちです。

平成 22 年度の女性部事業計画は女性の特性を生かした、会員・市民対象の講習会など、交流の輪を広げ、会員増強に繋がればと願っています。

交代要員募集のご案内

無償の研修期間があり役員・発注者による面接があります。

《希望職種》 詳細は事務局まで

グループ	人員	就業時間	交代月	条件
福祉センター受付(日曜日)	1名	8時45分～17時15分	2月	女性
第二文化センター受付	1名	ローテーション	2月	男性パソコン操作可能
振興プラザ受付	2名	土日祝 8時45分～16時45分	3月	4時間交代制 女性

地区会の動静(平成21年11月6日以降)

地区名	開催日	出席者数	在籍会員数	率(%)
矢野口 第1	平成22年3月までに開催する			
矢野口 第2	11/27	31名	44名	70%
矢野口 第3	11/14	39名	49名	80%
押立 第1	11/28	16名	31名	52%
押立 第2	平成22年3月までに開催する			
東長沼 第1	11/14	42名	52名	81%
東長沼 第2	12/13	38名	47名	81%
大丸 第1	平成22年3月までに開催する			
大丸 第2	11/29	30名	48名	63%
百村	11/22	19名	39名	49%
向陽台	11/25	31名	56名	61%
坂浜	平成22年3月までに開催する			
平尾 第1	11/14	30名	48名	63%
平尾 第2	11/29	27名	44名	61%
長峰	11/23	17名	30名	57%
若葉台	11/15	11名	17名	65%

社団法人 稲城市シルバー人材センター

所在地 稲城市東長沼2112-1

稲城市地域振興プラザ3階

電話377-2212 FAX377-7692

11月30日現在 会員数 638名

(男:434名 女:204名)

受託件数 278件(10月) 269件(11月)

就業実人員 451名(10月) 445名(11月)

契約金額 25,314,002円(10月)

24,082,459円(11月)

地区長・役職員交流会開催

平成21年度の地区長・役職員交流会が平成21年12月6日に振興プラザ4階会議室で開催されました。当日は午後1時からの地区長会に続いて交流会は理事と役職員が加わり、特にテーマを設けず思うところを自由に話していただく形式で行われました。懇談の始めに三澤会長から一言「契約額について昨年8月の落込み以降の回復が芳しくない」旨の現況報告がありました。その後は「環境美化グループ会員の労働状況」、「マンション清掃の休憩時間契約のあり方」とか「地区会開催の期日に関する質問」、「稲城SCでは就労できてよかった」などの発言がありました。

最後に宮澤事務局長から交流会の締めめの挨拶があり、和やかな中で終了しました。

補助縮減を見直す要望事項のご署名に感謝

国の行政刷新会議「事業仕分け」において、シルバー人材センター援助事業の補助金の縮減という評決結果が出されました。

それに対し、平成21年12月4日～10日にかけて縮減見直しの署名をお願いしたところ、430名の会員の皆様にご署名を頂くことができました。大変ありがとうございました。

早速、東京しごと財団を通して、国に対して要望活動を行ないましたことをご報告申し上げます。

会員の入退会 期間:10月1日～11月30日

地区	入会者	退会者
矢野口1, 2, 3	6名	1名
押立1, 2	3名	なし
東長沼1, 2	2名	なし
大丸1, 2	なし	2名
百村	2名	なし
向陽台	1名	1名
坂浜	なし	1名
平尾1, 2	1名	1名
長峰	なし	なし
若葉台	なし	1名
合計	15名	7名

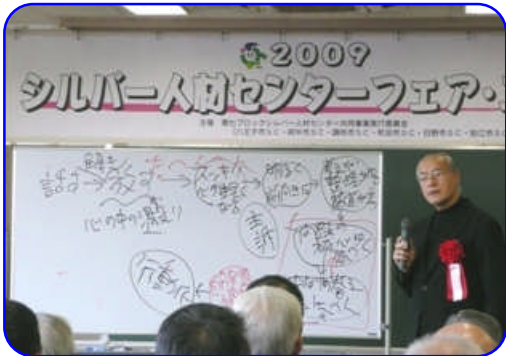
2009 シルバー人材センター 7B フェア・エイト 報告

今年度は八王子市SCが担当し、第7ブロックSCの「フェア・エイト」が平成21年11月20日に八王子市子安市民センターで開催されました。

プログラムは、基調講演、会員発表、ネイルアート、転倒予防体操、会員作品展、会員作品販売など盛りだくさんでした。

当SCからは会長を始め理事、女性部有志が参加しました。

紙面が限られているので、かいつまんでご報告します。●基調講演は高齢社会において、どう他人と関わったらよいか「傾聴について学ぶ」をテーマに山田豊吉先生（ホールファミリーケア協会）のお話を聴きました。



お年寄が必ずしも頑固とは限らない。若者でも頑固とは頑固と言う山田先生

論旨は「一般的に高齢者は頑固、命令は受けたくない、人の話を聴きたがらない。と想われ、何かと分が悪い。何故なのか、高齢者は変化を望まないのです。つまり、何十年も年を重ねて今があり、これが自尊心なのです。

しかし、それではコミュニケーションが前に進みません。大事なのは他人の話を聴き自分との違いを認める。そうすると人の思いが解るものです。要は聴き上手になること」だそうです。傾聴に値する講演でした。●会員発表は「会員になってよかったこと」について8市SCの女性会員が意見交換を行ないました。●ネイルアートでは女性会員が10代の気分になれたひと時だったようです。

その他に転倒予防体操や会員の作品展・販売で会場は賑わっておりました。

シルバー人材センターに感謝状贈られる

昨年11月16日、植木グループが毎年ボランティアで実施している福祉センターの剪定作業に、社会福祉協議会から感謝状が贈られましたのでご報告します。

佐倉市シルバー人材センター訪問

隔年実施の役員研修に管外研修があります。本年度は「月刊 シルバー人材センター」にも取り上げられ注目されている千葉県佐倉市SCを昨年11月18日に当SCの役職員一行が訪問し、活動の状況を聴いてきました。

佐倉市SCの現況は会員数、契約高において概ね稲城市SCの2倍の規模であると言えます。一方、佐倉市の人口は約17.5万人、世帯数は約6.8万戸であり、ここが事業フィールドになります。20年度の受注件数は公共が472件、民間が11,445件で96%が一般家庭・民間事業者だそうです。これは設立当初から民間中心の受注活動をしてきた歴史があると言っていました。

また、受注に即対処可能なよう市内を4地域に区分けし、それぞれに会員理事と技能職会員を配置しているとのこと。また、建屋以外の仕事に使う機材は全て会員個人持ちと言うのも驚きでした。これは技能職会員個人がシルバーの仕事に対し、設備投資をしていることであり、それだけに組織の要である本部と会員は事業に対する意識を共有しているのだろうと思いました。一方、市民も佐倉市SCを信頼しているのだろうと思いました。

市内一斉防犯パトロールに参加

昨年12月16日に稲城市安全安心まちづくり推進協議会主催の「年末市内一斉防犯パトロール」が実施されました。

当SCからは113名の会員が参加し、各地域自治会をはじめ諸団体とともにそれぞれのコースをパトロールしました。厳しい寒さにもかかわらず地域の安全・安心推進に貢献する気概を感じさせる会員さん達でした。



シルバーの幟とクリスマスツリーがまぶしい
若葉台駅前集合したパトロール参加者の皆さん

会員のひろば

理事・職員さんが除草ボランティア

恒例の除草ボランティアが昨年 11 月 9 日に行われました。振興プラザ周辺と駐車場の除草、特に建物南側路地は写真のようにきれいになりました。参加者は 15 名でした。



除草前

除草後

ボウリング大会盛況に終わる

平成 21 年 11 月 26 日、調布スポーツセンターで、40 名参加しました。午後 2 時試合開始、3 名ひと組で 2 ゲームのトータルで、アベレージを競いました。

昔取った杵柄の人、ストライクをねらってもガータばかりの人、参加者全員時間のたつのも忘れゲームに興じました。

優勝者の言葉「40 年振りだが身体が覚えていた」。特別賞受賞者の言葉「生まれて初めての事でどうなるか心配だったが、すごく楽しかった」。交流を深めることが出来ました。



ストライク!!
お見事!!

新年を祝う集いのお知らせ

実施日：平成 22 年 1 月 15 日（金）
場所：多摩京王プラザホテル 4 階
時間：12：00～14：00
募集人員：100 名定員
参加費：4,000 円（個人負担）
申込受付：平成 22 年 1 月 5 日～1 月 8 日

●詳細はチラシをご覧ください。

秋の健康ハイキング行われる



「見晴し緑地」
都庁が見えるよ

安全管理委員会主催の健康ハイキングが平成 21 年 12 月 7 日におこなわれました。

若葉台駅 9 時 30 分集合で、参加者 24 名でした。まず、小田良地区の「光仙婆さんの御利益」の祠の説明を聞き、続いて大塚牧場へ向い、50 頭以上のホルスタイン種・肉食牛が飼育されていました。生まれて 24 時間経たない子牛が自力で立ち上がり、その生命力の強さに驚きました。



足取りもかるやか

上谷戸親水公園の水路は、蛍の幼虫を養殖・繁殖させようと苦労しているようです。

広々した若葉台公園で昼食後、見晴し緑地までの道のりはきつかったが、四方を見渡せて気分爽快でした。

i プラザの館長さんに館内を案内していただき、午後 3 時に若葉台駅前に到着、解散しました。

《給付報告》 平成 21 年 11 月 13 日

弔慰金 下鳥 哲夫さん（大丸）
ご冥福をお祈りいたします。

編 集 後 記

知る人ぞ知る「早春賦」の一節です。この歌の季節感や年が明けると春を感じさせる唱歌として私は大好きで無意識のうちに口ずさんでしまいます。旧暦では立春が過ぎて正月ですから二月頃がこの歌の句かも知れません。何はともあれ、七十歳を超えた同輩いや、先輩諸氏にとつてこの歌は「青春譜」になつていゝのではなからうか。少し、現下の世情を忘れて口ずさんでみては如何でしょうか。

「春は名のみの風の寒さや
谷の鶯 歌は思えど
時にあらずと 声も立てず
時にあらずと 声も立てず」